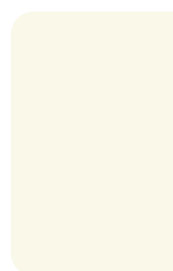


敦賀をひろげるプロジェクト

# プレイヤーの 成長ストーリー

人が育つと、まちがひろがる。



## “あったらいいな”をやってみる

敦賀に住む・働く多様な方が所属を超えて、学校の同級生やサークルの仲間のようにフラットに繋がりながら、「敦賀をこんな街にしたい」「こんなことできたら面白そう」というアイデアを持ち寄り、それぞれの得意分野を活かして、まちづくりに挑戦しています。

敦賀を  
つなげる  
30人

# データで見る、 敦賀をひろげるプロジェクト

敦賀をひろげるプロジェクトには市民・企業・行政・NPOなどの多様なステークホルダーが参加しています。参加者それぞれの力を活かし、社会的つながりを強くすることで地域の課題解決を目指します。ここでは、どのような人が参加し、どう変化したかを振り返ります。

※数値は2025年度(4期)終了時点の数値です。

## 合計参加者数

81 人



参加申込から、実際に活動した人数(1~4期)

## 生まれた企画数・チーム数

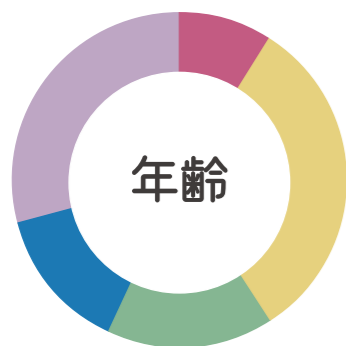
14 チーム



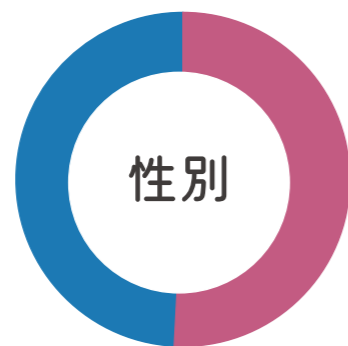
参加者自身がアイデアを持ち寄り、チームを組んで企画・実行まで行います。

## 多様性

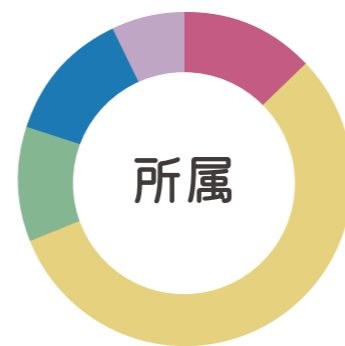
様々な年齢、所属、背景を持った方が参加しています。所属する企業では繋がれないような方々との「対話」を通じて新たなアイデアや価値観が生まれ、視野が広がります。



- 10代 9%
- 20代 32%
- 30代 16%
- 40代 14%
- 50代~ 29%



- 女性 51%
- 男性 49%



- 行政 13%
- 企業 56%
- 団体 11%
- 自営 13%
- 無所属 7%

4人に1人が  
次期を支える人材へ。



参加者の約26%が、プログラム終了後も運営メンバーとして活動を継続しています。ただ参加して終わりではなく、自ら動く人材へ。参加者に主体性と自分ごと化が生まれるプログラムです。

## 成果と声

ワークショップ全6回を経験した参加者の感想を、アンケート回答データから振り返ります。

### ワークショップ満足度(平均)

4.7 / 5.0



プロジェクトに満足した参加者が価値を認め、周囲にも勧めたいと感じています。

今までリーダー経験があまりなかったが、リーダーに挑戦してリーダーシップが身についた！  
(20代/会社員)

想像以上に色んな人とつながることができ、全肯定して背中を押してくれる人たちと一緒に挑戦することができた！  
(30代/会社員)

### 参加者が繋がった人数

159 人以上



中間報告会のゲスト64人、最終報告会の参観者95人等。プログラムを通じて、地域の多様な人々を巻き込んでいます。(1~4期のゲスト人数)

自分ができると、誰かに任せられることを考え、1人で背負いすぎなくてもいいと思えるようになった！  
(10代/学生)

周りの人にどう思われるかを怖がらず、自分から心を開いて想いを言語化して伝えられるようになった！  
(50代/自営業)

## 参加者の所属 (五十音順 / 重複を除いた 48 件)

以下の企業・団体・学校の方に参加いただきました。

亜紀マネジメント株式会社  
株式会社アスフリーク  
泉ヶ丘病院 湯の里ナーシングホーム  
株式会社ウチイケ  
株式会社ウラコミュニケーションズ  
エイチ・エス写真技術株式会社敦賀営業所  
FTEC株式会社  
STAND UP つるが  
スタイルム瀧定大阪株式会社  
株式会社Matsukawa  
Key Answer  
慶応義塾大学  
ケセラセラーみやもと  
こども食堂青空  
株式会社澤村  
敦賀市シルバー人材センター  
株式会社ジャクエツ

SCHOLA.mobilis  
敦賀FM  
敦賀気比高等学校  
敦賀市役所  
敦賀市社会福祉事業団  
敦賀市身体障害者福祉連合会  
敦賀信用金庫  
NPO法人THAP  
天清酒万寿店  
株式会社伝食  
東横イン  
福井の地域貢献コミュニティTOROSSA  
株式会社日章土地  
株式会社日本ピーエス  
嶺南ケーブルネットワーク  
北陸コカ・コーラボトリング(株)敦賀  
株式会社福井キャピタル&コンサルティング

福井県視覚障害者福祉協会  
福井県嶺南振興局二州企画振興室  
福井大学 国際地域学部  
福井県立敦賀高等学校  
合同会社FUJIONE  
株式会社フレデリッシュ  
北陸電力株式会社  
株式会社マップトラベル  
株式会社マツバ  
丸善雄松堂株式会社  
マルハン敦賀店  
市民団体Universal Freeeee  
吉本興業  
LIVE812  
株式会社リソグラ

## 他県との共創

本プロジェクトは、2016年に渋谷で生まれ全国十数都市で展開する官民共創プログラム「つなげる30人」のローカルモデルです。敦賀を越えた全国規模のネットワークへつながる機会があります。

継続的な総合交流地域

渋谷 小松  
京都 沖縄

他県との接続・交流事例

- OB/OGが沖縄へ渡り、ファシリテーターとして伴走
- OB/OGが渋谷の最終報告会へ参加・全国メンバーと交流
- 内閣官房をゲストに招いてカンファレンスを開催し、全国から来た幅広い参加者と交流

# 01



2025年度 参加者

## 成田 朋哉

敦賀信用金庫

自分から意見を出したり

行動したりすることに前向きになりました

### 参加前に感じていたこと

地域のために何かできたらいいなと思う一方で、自分にどこまでできるのか少し不安もありました。また、どんな人たちとどんな活動をするのか楽しみな気持ちもありました。

### 参加中に向き合ったこと

普段あまり関わることのない人と意見を出し合いながら、一つの企画を形にしていくことに挑戦しました。考えをまとめたり、人に伝えたりすることの難しさも感じましたが、その分やりがいも大きかったです。

### 参加前と比べて 変化したこと・成長したこと

自分から意見を出したり行動したりすることに少し前向きになれたと思います。また、地域のことをより身近に考えるようになりました。

### これからやってみたいこと 続けていきたいこと

これからも地域に関わる活動に積極的に参加していきたいです。また、新しいことにも挑戦していきたいと思っています。

### これから参加する方へ

最初は不安もあると思いますが、参加してみると学ぶことや気づきがたくさんあります。ぜひ楽しみながら取り組んでみてください。

発表に向けて  
想いをまとめています



その他メンバーの  
インタビューも更新中！

Instagram



@tsuruga\_hirogeru

# 02



2025年度 参加者

## 菅原 綾子

マルハン 敦賀店

色々な人と関わりながら話を聞けて、

常に学びがあり視野が広がりました

### 参加前に感じていたこと

会社から参加していたので、敦賀の為に自分の会社がどう関わっていけばいいかなどを常に考えていました。

### 参加中に向き合ったこと

人と人との向き合い方です。初めましてから、同じ目的のグループを作るのは苦勞しました。

### 参加前と比べて 変化・成長したこと

交流の幅が広がりました。色々な人と関わり色々な話を聞く中で、常に学びがあり視野が広がったと思います。

### これからやってみたいこと 続けていきたいこと

自分のチームの Instagram フォロワー 1000 人獲得のために、インスタ勉強会などを開催したいです。

### これから参加する方へ

苦勞もありましたが、その分みんなで支え合いながら取り組み、最後にはやり切ったという大きな達成感を感じることができました。得るものがいっぱいあったので、迷っていたらまずは参加してほしいです。

### 上司からのコメント

プロジェクトに参加して以降、物事を考える際に自分や店舗の視点だけでなく、お客様や地域の方々など、より多くのステークホルダーの立場を意識した発言や行動が増えたように感じます。また、パチンコ店という枠組みだけで考えるのではなく、「パチンコ」と「地域」を掛け合わせた視点で発信や取り組みを考えるようになりました。社内では経験することが少ない「地域のために何ができるか」を考える機会をいただいたことで、本人の視野が大きく広がったように感じています。

## 03

2024年度 参加者

2025年度 事務局  
伴走支援メンバー

## 橋本学徳

敦賀高等学校



物事を「参加者目線」だけでなく

「運営目線」でも見るようになりました

## 参加前に感じていたこと

これまでイベントは参加者として楽しむ側で、運営がどのように考え、どれだけ準備しているのかを深く意識したことがありませんでした。自分が運営として本当に役に立っているのか、自分の判断や行動が全体に影響してしまわないか不安もありました。一方で、運営側から地域やイベントに関わることで、これまでとは違う視点で敦賀を見ることができると期待もありました。

## 参加中に向き合ったこと

運営では準備、当日の対応、状況に応じた判断など、自分たちで場を作る必要がありました。特に、先を読んで行動することや、全体の流れを意識しながら動くことは難しく、最初は周りを見て動いただけで精一杯でしたが、徐々に自分から考えて動くことを意識するようになりました。

## 参加前と比べて変化・成長したこと

物事を「参加者目線」だけでなく、「運営目線」でも見るようになったことが大きな変化です。イベント一つにも多くの準備や意図があることを理解し、普段の活動でも全体のことを考えて行動する意識が強くなりました。

また、自分から役割を見つけて動こうとする姿勢が以前より身についたと感じています。受け身ではなく、自分も場を作る側の一人であるという意識を持てるようになりました。

これからやってみたいこと  
続けていきたいこと

より主体的に運営に関わり、イベントの質を高めることに貢献していきたいです。また、参加者が安心して楽しめる環境を作るために、自分にできることを常に考えながら行動していきたいです。さらに、この経験を通して得た視点を、今後の地域活動や他の場面でも活かし、自分から新しいことに挑戦していきたいです。

## 04

2024年度 参加者

2025年度 事務局  
伴走支援メンバー

## 岡本靖子

敦賀市民病院内保育園ぬっく



自分とは違う意見を尊重し、

心から尊敬できるようになりました

## 参加前に感じていたこと

「何をすればいいのだろう」「私に何ができるのだろう」と自分に問いかけ、不安になることもありました。せつぱくなら、楽しく仲間を増やしていけたらいいなとときめきました。

## 参加中に向き合ったこと

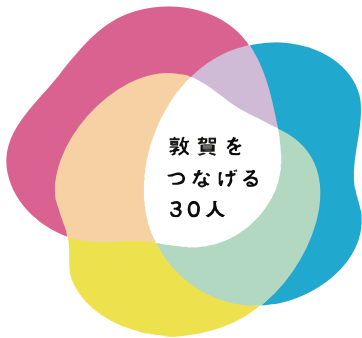
さまざまな思いを持つ人たちが集まり、なかなか方向性が定まらない中で、見守る立場としての難しさを強く感じました。自分の考えを示しすぎてもいけない、けれど何も示さなければ前に進まない。その間で揺れ動きながら、一人ひとりと丁寧に向き合い、思いに耳を傾け続けました。すると少しずつ、それぞれの中にある種が見え始め、このチームならきっと何かを育てている、そう信じられるようになりました。

## 参加前と比べて変化・成長したこと

人の意見を待てるようになり、思いをうまく伝えられる人もいれば、言葉にするのが難しい人もいました。だからこそ信じて寄り添い、共に考えることを選びました。自分とは違う意見を尊重できるようになり、異なる考えを持つ人を心から尊敬できるようになりました。

## これから参加する方へ

敦賀をひろげるプロジェクトは、楽しいことばかりではありません。悩んだり、考えたり、ぶつかったりすることもあります。でも、立場や年齢を越えて人と人が本気で向き合い、少しずつ信頼を重ねていく経験は、日常ではなかなかできません。その中で感じた喜びも葛藤も、すべてが自分を成長させてくれます。一緒に考え、動き、笑いながら、敦賀の未来を広げる一歩を踏み出してみませんか。



“あったらいいな”をやってみる

お問い合わせ

敦賀をひろげるプロジェクト事務局

Mail : tsuru.hiro30nin@gmail.com

敦賀をひろげるプロジェクトの  
最新情報はこちらでチェック！

Instagram



@tsuruga\_hirogeru